

**第54期・2013年度
事業報告書および決算報告書**

(2013年4月1日～2014年3月31日)

一般社団法人出版文化国際交流会

〒101-0064 東京都千代田区猿楽町1-2-1

Tel. 03-3291-5685 Fax. 03-3233-3645

<http://www.pace.or.jp>

2013 年度事業報告書

はじめに

日本経済全般については比較的明るい見通しが報じられていますが、出版界を取り巻く環境には、さまざまな施策にもかかわらず、なお厳しいものがあります。このような状況のなか会員の皆さまには、年間を通し安定した資金繰りのために今年度も年 2 回に分けた会費一括納入をお願いし、ご理解・ご協力をいただきました。ここに改めて厚く御礼を申し上げます。

お蔭さまで本会は、2013 年 10 月 29 日に創立 60 周年を迎えることができました。11 月 28 日には日本出版クラブ会館にて会員各位、関係者、約 100 名のご参加をいただき「出版文化国際交流会創立 60 周年記念感謝の集い」を開催いたしました。

一般社団法人への移行 2 年目となった本年度は、移行認可条件である公益目的支出計画の継続事業として第 20 回東京国際ブックフェアに参加しました。独立行政法人国際交流基金との共催事業である国際ブックフェア参加事業は、本会の柱の事業とも言えますが、本年度は 4 月の第 23 回アブダビ国際ブックフェアを始めとして 16 件の参加となりました。

第 19 回ソウル国際ブックフェア、及び第 65 回フランクフルト・ブックフェアでは単独出展社のお世話と共に独自ブースを設け、日本の出版文化発信の中心的役割を果たしました。今回のフランクフルト・ブックフェアはテーマ国が「ブラジル」として開催されました。本会は昨年と同様、6 号館 2 階に日本会場を構成し、例年通り日本インフォメーション・センターを設置し、来場者からの様々な要請、問合わせに応接しました。また共同展示場を設け、出版梓会、自然科学書協会、大学出版部協会の出版 3 団体、コーナー出展社からの出展図書を、国際交流基金予算により購入の英文版日本関連図書などと共に展示・紹介しました。

広報活動としましては、2010 年 4 月以来休刊していた会報を復刊しました。今後は年 2 回の刊行を実施する予定です。またホームページの拡充を図るとともに、国際交流基金と共同発行の英文版・日本出版界の実用ガイド *Practical Guide to Publishing in Japan 2014-2015* を発行しました。本会が出展参加する国際ブックフェアで重点的に配布します。

国際ブックフェア関連事業では、海外出版事情視察団の編成をフランクフルト・ブックフェアの開催時期にあわせて実施いたしました。

1993 年より導入の納本制度は、会員の皆さまのご理解、ご協力をいただき本年度も確実に実施され、心より感謝申し上げます。この納本制度による特別賦課会費は、わが国の出版文化の紹介事業に有効に活用させていただきますので、引き続きのご協力をお願い申し上げます。

高度な情報社会を迎えているとはいえ、なお多くの国際ブックフェアが世界各地で開催されており、いずこのブックフェアでも日本の参加が強く望まれております。本来的に収

益を目的としない本会では様々な経費節減策を講じつつ堅実な運営に努めておりますが、今後も皆さまのご協力をいただきながら、独立行政法人国際交流基金との共催事業を中心とした国際ブックフェアへの参加に、また出版文化の交流事業に更なる努力を重ねていく所存であります。

会員の方々、関係機関、諸団体の皆さまのご支援ご協力を深謝いたしますと共に、今後とも変わらぬご支援・ご鞭撻を心よりお願い申し上げます。

2014年5月21日

一般社団法人 出版文化国際交流会
会 長 江草 忠敬

事業報告明細

I. 国際ブックフェアへの参加

1. 出展参加

本年度は本会の独自参加となる東京を含め17件の国際ブックフェアに参加しました。地域別としてはアジア3件、中南米3件、中東7件、欧州4件となります。今回も外務省、国際交流基金の方針を反映し中東地域を重点参加地域とした内容になりました。このうち専門家派遣はリマとラトビア、事務局派遣はソウルとフランクフルトになっています。

(1) 参加国際ブックフェアの一覧

参加した国際ブックフェアの名称、会期、日本ブースの面積等につきましては、10ページに纏めましたのでご参照ください。

(2) 主要国際ブックフェアの参加状況

1) 第20回東京国際ブックフェア2013

会期：2013年7月3日(水)～6日(土)

会場：東京ビッグサイト

本会は実行委員会の一員として運営に関わると共に、一般社団法人認可条件である公益目的支出計画の継続実施事業として独自のブース(10㎡)をもって参加しました。今回の本会ブースでは会員約30社の出版目録、会社案内を並べて読者に提供しました。また、併せて海外の出版社によって翻訳出版された会員社の図書とそのオリジナル日本語版図書を並列して展示、読者の興味を誘いました。

初日の開会式には江草忠敬会長が参列しました。

また2日目の夕方、「第47回・造本装幀コンクール」の表彰式が開催され、本会からは竹内和芳副会長が出席、『われた魯山人』(発行：フォクシー)に対し出版文化国際交流会賞を授与しました。

2) 第19回ソウル国際ブックフェア2013

会期：2013年6月19日(水)～23日(日)

会場：COEX 韓国国際総合展示場

主催：大韓出版文化協会

参加国：20カ国(前年20カ国)

出展社：610 社 835 ブース(前年 580 社)

展示面積：14,733 m²

入場者数：129,110 人(前年 126,799 人)

6月19日(水)から23日(日)まで開催の第19回ソウル国際ブックフェアに参加しました。本会の職員を派遣し、ソウル日本文化センターと協力して、日本ブースの運営・管理から、訪問してくる韓国をはじめ、主にアジア各国の出版社への対応、さらに韓国出版研究所など出版関連団体とのコミュニケーション等、重要な隣国である韓国との交流を深めるべく努力しました。今回もブースでは、日本語の書籍を韓国大手の書店である**教保文庫が販売**しました。5日間の来場者数は約13万人で、とりわけ幼稚園、小学校から高校までの児童・生徒たちが**課外授業で来場**しているのが目立ちました。日本からの出展社は10社ほどで、単独出展は4社、このうち**ポプラ社、(株)トーハンの2社**については本会がお世話しました。そのほか著作権交渉に来ていた出版社もあり、こうした出版社を本会がどのくらいケアできるかということが来年に向けてのひとつの課題となります。

3) 第65回フランクフルト・ブックフェア (一部国際交流基金との共催事業)

会期：2013年10月9日(水)～13日(日)

会場：フランクフルト国際見本市会場

主催：ドイツ出版社・書籍販売店協会

参加国：100カ国 (前年97カ国)

出展社：7,300社 (前年7,307社)

展示面積：171,790 m²

入場者数：**275,324人** (9日～11日<ビジネスデイ>142,912人

12, 13日<一般>132,412人)

※前年281,753人 (ビジネスデイ146,187人、一般135,566人)

テーマ国：ブラジル

上記の主催者発表の数字によると、参加国、出展社ともほぼ前年並みですが入場者数が対前年比6,429人(2.2%)減となりました。

今回の**テーマ国はブラジル**が取り上げられ、フォーラム館を中心に多くの記念展示、イベントが開催され同国の豊かで多様性に富んだ文化が幅広く紹介されました。

本会では本年度も**単独出展7社**(後述)のお世話をし、6号館の2階に日本会場を構成、独立行政法人国際交流基金との共催による日本インフォメーション・センターを設置、隣接して、また通路を挟んだ反対側に日本共同ブースを置いて後述

の出版3団体の図書、並びに国際交流基金予算により購入の英文版日本関係図書、国際交流基金発行の書誌情報誌 (*Japanese Book News, Worth Sharing*) に掲載された図書等を展示・紹介しました。

日本インフォメーション・センター

今年度も日本会場の中心に位置した日本インフォメーション・センター(16 m²)では来場者の総合的な窓口としてさまざまな来場者に応接しました。今年もいけばなインターナショナルの協力を得てインフォメーション・センターおよび各単独出展社のブースに生け花の提供を受け、彩を添えました。

日本共同ブースにおける出展

日本共同ブースには(一社)出版粋会、(一社)自然科学書協会、(一社)大学出版部協会の出版3団体協力参加による共同展示コーナー(24 m²)を設置しました。各協会の出展明細は次の通りです。

出版粋会：	24社 43点
自然科学書協会：	18社 33点
大学出版部協会：	26部 48点
合計	68社(部) 124点

また国際交流基金予算による購入の英文版日本関係図書等(364点)、更にドイツで購入の日本関連図書(22冊)も展示しました。

日本の共同ブースでは、1m幅のコーナー展示や商談スペースの提供を行ないましたが、ここには岩波書店、鹿嶋国際著作権事務所、文藝春秋、ポプラ社の4社が参加しました。

日本からの出展社

オーム社、学研、講談社、小学館、日本著作権輸出センター、リードエグジビション・ジャパン、ディスカヴァー21の出展を本会がお世話しました。

なお本会は国際交流基金と共同出展しました。

また医学書院、大日本印刷・丸善、紀伊国屋書店を始め18社は他のパビリオンに独自出展しました。

出展図書の英文情報事前発信

図書の展示にあたっては、より有益な情報を事前提供できるような体制を整えていくこととしました。その一環として、日本文学出版交流センター(J-Lit)の協力を得て同センターの英文サイト”Books from Japan”に上述の出版3団体の展示図書をFBFの前に紹介し、「この書籍はPACEのブースで現品を見ることができる」という一文を入れてもらうなど、事前の情報発信に努めました。会期中、展示図

書の一部に商取引に繋がる反応もあり、この体制については何よりも継続が肝要であり、今後も拡充していく予定です。

フランクフルト・ブックフェア総裁との会見

今年もユルゲン・ボース FBF 総裁との会見の機会を得ましたが、本会の竹生修己副会長、日本書籍出版協会事務局長の樋口清一氏、オーム社の佐藤素美氏、PACE 事務局長の新藤雅章、同事務局次長の佐藤佳苗が出席し、今後の協力関係の維持推進について意見の交換を行ないました。

出展社アンケート

終了後の出展社へのアンケートによるとビジネス成果については例年並みの評価が多く見られ、また 6 号館 2 階の日本会場のロケーションについては出展環境、他のパビリオンへのアクセスにもよく、次回も同ロケーションを望む希望が圧倒的に多く寄せられました。

ドイツにおける通関の問題

前年度の経験を活かし、今回は事前準備を整えた結果、ドイツにおける通関は支障なく通り、準備作業への特段の影響はありませんでした。

なお前年度より通関リストの記載に本体価格が求められ、関税価格が上昇しています。

次回の開催

第 66 回フランクフルト・ブックフェアの会期は 2014 年 10 月 8 日(水)～12 日(日)となります。

2. 国際ブックフェア関連事業

(1) 「フランクフルト・ブックフェア世話人会」の運営

今年度は世話人会の開催を見送りました。

[世話人会委員]

竹生修己(オーム社)、君和田真澄(小学館)、吉田ゆりか(日本著作権輸出センター)、山田奈保(講談社)、沼田雄一(学研ホールディングス)、鹿嶋 明(鹿嶋国際著作権事務所)、横手多仁男(出版文化国際交流会) [順不動、敬称略]

(2) 海外の出版事情視察団の編成

- 1) 「フランクフルト・ブックフェアとイタリア出版事情視察コース」(8 名参加)
- 2) 「フランクフルト・ブックフェア ビジネスコース」(5 名参加)

(3) 「第 47 回・造本装幀コンクール」後援と「世界で最も美しい本コンクール」

本会は 1985 年(昭和 60 年)の第 20 回同コンクールより後援団体として参加しています。今回は(株)フォクシー発行の『われた魯山人』を出版文化国際交流会賞に選定しました。

今回の受賞作品 21 点は 2014 年 3 月のライプチヒ国際ブックフェア開催時における「世界で最も美しい本コンクール」に応募しました。今回、世界 30 ヶ国から 567 点がエントリーされたなか、土曜美術社出版販売発行の『トットリッチ』が栄誉賞を受賞しました。日本からの出品図書は昨年に続いての受賞となりました。

この応募図書は 2014 年の第 66 回フランクフルト・ブックフェアの特別展示会場で世界各国からの応募図書と共に展示紹介されます。

II. 広報活動

1. 会報の発行 193 号

B5 判 16 頁 発行 : 300 部

会員・関係団体、機関等に配布

2010 年 4 月刊行の 192 号以来休刊していましたが、復刊しました。今後は年 2 回の刊行をいたします。

2. *Practical Guide to Publishing in Japan 2014-2015* の発行

英文版・日本出版界の実用ガイド

A5 判変型、本文 61 頁、発行:4,000 部(隔年発行)

この案内書は独立行政法人国際交流基金との共同出版ですが、昨年度より隔年発行に変更されました。外国の出版関係者のみならず日本の出版物に関心を持つ一般の人にも有用な情報を英文でコンパクトに紹介する冊子です。外国の出版関係者のみならず日本の出版物に関心を持つ一般の人にも有用な情報を英文でコンパクトに紹介する冊子です。本会が参加する各国の国際ブックフェアでの配布(各 100~300 部)を中心に、国際交流基金海外事務所での現地配布資料、来日外国出版人への啓蒙資料としても活用されています。

[掲載内容]

日本出版界の概要と輸出入統計、東京国際ブックフェアの実情、前年度のベストセラー図書の紹介等を含む最近の動向、翻訳出版権・図書の販売や購入等の商取引につながる基本情報、翻訳出版助成機関の紹介、主要な出版関連機関、団体の住所、在外公館、国際交流基金海外事務所一覧等

3. 『フランクフルト・ブックフェア』（手引書）

B5判、発行：50部

世界最大のフランクフルト・ブックフェアについて、その歴史から最新の開催状況までをコンパクトにまとめた小冊子です。簡易製本の形にして視察団参加者、および出展社における基礎資料として配布しました。

4. ホームページによる広報

ホームページ上で本会の活動を紹介。会員社を始め、オンライン書店、主要国際ブックフェアホームページへのリンク等の基本情報とともに、国際ブックフェア開催日一覧や派遣専門家の報告、さらにフランクフルト・ブックフェア視察旅行企画の案内等を行なっています。また *Practical Guide to Publishing in Japan 2014-2015* の PDF ファイルも掲載しています。

Ⅲ. 関連活動と報告事項

1. 公益法人制度改革

本会は 2012 年 4 月 1 日より一般社団法人に移行しましたが、2013 年 5 月 31 日付けにて関係法令に基づき 2012 年度の「公益目的支出計画実施報告書」を内閣府に提出し、受理されました。

2. 納本制度による特別賦課会費の報告

1993 年 3 月より導入の納本制度では、本年度は 37 社(前年度 39 社)のご協力により 4,979 冊(前年度 5,366 冊)、総額 6,787,940 円（前年度 7,179,406 円）が特別賦課会費として納付されました。

3. 会議記録

定時総会 1回

2013 年 5 月 21 日（火）

- | | |
|---------|---------------|
| 第 1 号議案 | 2012 年度事業報告の件 |
| 第 2 号議案 | 2012 年度決算報告の件 |
| 第 3 号議案 | 事務処理関係規定、修正の件 |
| 第 4 号議案 | その他の件 |

臨時総会 1回

2013 年 11 月 28 日（木）

- | | |
|---------|------------------|
| 第 1 号議案 | 2013 年度上半期事業報告の件 |
| 第 2 号議案 | 2013 年度上半期決算報告の件 |

- 第 3 号議案 役員を選任に関する件
- 第 4 号議案 その他の件

理事会 3回

2013年5月21日(火)

- 第 1 号議案 2012年度事業報告の件
- 第 2 号議案 2012年度決算報告の件
- 第 3 号議案 その他の件

2013年11月8日(金)

議題は臨時総会と同じ

2014年3月25日(火)

- 第 1 号議案 2014年度事業計画案の件
- 第 2 号議案 2014年度収支予算案の件
- 第 3 号議案 その他の件

正副会長会議 4回

2013年5月14日(火)

2013年10月3日(木)

2013年10月31日(木)

2014年3月13日(木)

4. 会員の異動 (2014年3月31日現在)

正会員 (現会員数 : 69 社)

特別会員 (現会員数 : 14 社)

入会	正会員	なし
	特別会員	なし

退会	正会員	医歯薬出版株式会社 (2013年10月31日)
		株式会社 日教販 (2013年11月5日)
		株式会社 研究社 (2013年11月25日)
	特別会員	なし

2013 年度参加国際ブックフェアの名称・会期・日本会場の面積と送付図書・派遣専門家

1. 第 23 回アブダビ国際ブックフェア (アラブ 首長国連邦) 2013.4.24～29
日本ブースの面積と送付図書：16 m²/248 冊
2. 第 39 回ブエノスアイレス国際ブックフェア 2013.4.25～5.13
日本ブースの面積と送付図書：27 m²/235 冊
3. 第 26 回テヘラン国際ブックフェア 2013.5.1～11
日本ブースの面積と送付図書：27 m²/236 冊
4. 第 19 回ソウル国際ブックフェア 2013.6.19～23
日本ブースの面積と送付図書：36 m²/367 冊
事務局派遣 (新藤雅章)
5. 第 20 回東京国際ブックフェア 2013.7.3～6
日本ブースの面積と展示図書：10 m²/50 冊
6. 第 18 回リマ国際ブックフェア 2013.7.19～8.4
日本ブースの面積と送付図書：27 m²/223 冊
専門家派遣 (佐藤佳苗-出版文化国際交流会)
7. 第 65 回フランクフルト・ブックフェア 2013.10.9～13
日本ブースの面積と送付図書：40 m²/364 冊
事務局派遣 (新藤雅章/佐藤佳苗)
8. 第 58 回ベオグラード国際ブックフェア 2013.10.20～27
日本ブースの面積と送付図書：32 m²/300 冊
9. 第 20 回アルジェ国際ブックフェア 2013.10.25～11.2
日本ブースの面積と送付図書：12 m²/213 冊
10. 第 38 回クウェート国際ブックフェア 2013.11.20～30
日本ブースの面積と送付図書：15 m²/224 冊
11. 第 27 回グアダラハラ国際ブックフェア 2013.11.23～12.1
日本ブースの面積と送付図書：18 m²/103 冊
12. 第 15 回モスクワ国際知的図書展 non/fiction 2013.11.27～12.1
日本ブースの面積と送付図書：18 m²/355 冊
13. 第 24 回ドーハ国際ブックフェア 2013.12.4～14
日本ブースの面積と送付図書：18 m²/285 冊
14. 第 22 回ニューデリー国際ブックフェア 2014.2.15～23
日本ブースの面積と送付図書：36 m²/338 冊
15. 第 19 回マスカット・国際ブックフェア (マーン) 2014.2.26～3.8
日本ブースの面積と送付図書：9 m²/221 冊
16. 第 17 回バルティック・ブックフェスティバル (ラトビア) 2014.2.28～3.2
日本ブースの面積と送付図書：25 m²/327 冊
専門家派遣 (田志口克己-東海大学出版会)
17. 第 32 回リヤド国際ブックフェア 2014.3.4～3.14
日本ブースの面積と送付図書：12 m²/260 冊

[注] 5. 第 20 回東京国際ブックフェア以外は国際交流基金との共催事業

決 算 報 告 書

自 平成 25 年 4 月 1 日
至 平成 26 年 3 月 31 日

一般社団法人出版文化国際交流会

貸 借 対 照 表

平成 26 年 3 月 31 日現在 (決算)

法人名：一般社団法人出版文化国際交流会

事業名：事業全体

(単位： 円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
I 資 産 の 部			
流 動 資 産			
現 金 預 金	17,229,257	18,297,537	△1,068,280
未 収 入 金	8,884,180	1,823,788	7,060,392
仮 払 金	2,284,734	1,643,371	641,363
流 動 資 産 合 計	28,398,171	21,764,696	6,633,475
固 定 資 産			
そ の 他 固 定 資 産			
什 器 備 品	1	50,078	△50,077
敷 出 金	1,632,027	1,632,027	
そ の 他 固 定 資 産	500,000	500,000	
そ の 他 固 定 資 産 合 計	2,132,028	2,182,105	△50,077
固 定 資 産 合 計	2,132,028	2,182,105	△50,077
資 産 合 計	30,530,199	23,946,801	6,583,398
II 負 債 の 部			
流 動 負 債			
未 払 金	32,287	139,902	△107,615
職 員 預 金	122,250	102,130	20,120
流 動 負 債 合 計	154,537	242,032	△87,495
負 債 合 計	154,537	242,032	△87,495
III 正 味 財 産 の 部			
一 般 正 味 財 産	30,375,662	23,704,769	6,670,893
正 味 財 産 合 計	30,375,662	23,704,769	6,670,893
負 債 及 び 正 味 財 産 合 計	30,530,199	23,946,801	6,583,398

財 産 目 録

平成 26 年 3 月 31 日現在 (決算)

法人名：一般社団法人出版文化国際交流会

事業名：事業全体

(単位： 円)

貸借対照表科目	場所・物量等	使用目的等	金額
(流 動 資 産)			
現金	現金手元有高		65,526
座預金	三菱東京UFJ銀行	神保町支店	255,742
	三井住友銀行	神田支店	27,507
普通預金	文化産業信用組合	本店	465,150
	三菱東京UFJ銀行	新宿西支店	15,202,356
	三井住友銀行	神田支店	53,551
	三井住友銀行	神田支店 (納本口)	602,815
定期預金	文化産業信用組合	本店	500,000
郵便貯金	ゆうちょ銀行		56,610
定期積金	文化産業信用組合	本店	
未収入金	国際交流基金	第2次支払申請分	4,971,442
	国際交流基金	第3次支払申請分	3,205,488
	2社	フランクフルト第2次請求	707,250
仮払金		翌期分事業費 (ソウルBF)	1,567,434
		翌期分事業費 (東京国際BF)	380,700
		翌期分事業費 (アブダビBF)	336,600
流動資産合計			28,398,171
(固 定 資 産)			
その他固定資産			
什器備品	応接セット	1台	1
敷出資	日本出版貿易株)	事務所敷金	1,632,027
	文化産業信用組合	本店	500,000
固定資産合計			2,132,028
資産合計			30,530,199
(流 動 負 債)			
未払金	出版健康保険組合	健康診断料	6,300
	日本出版クラブ	理事会会議室料	25,987
職員預金		源泉所得税	49,650
		住民税	72,600
流動負債合計			154,537
負債合計			154,537
正味財産			30,375,662

正味財産増減計算書

平成25年 4月 1日から平成26年 3月31日（決算）まで

法人名：一般社団法人出版文化国際交流会
事業名：事業全体

（単位： 円）

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
經常増減の部			
經常収益			
受取会費	26,467,940	26,609,406	△141,466
正会員会費収入	16,770,000	16,970,000	△200,000
特別会費会費収入	2,910,000	2,460,000	450,000
特別賦課会費収入	6,787,940	7,179,406	△391,466
事業収益	23,129,504	22,487,124	642,380
フランクフルトブックフェア参加収入	10,698,956	9,936,009	762,947
ソウルブックフェア参加収入	551,701	858,138	△306,437
国際ブックフェア参加収入	498,548		498,548
国際交流基金預託金	11,380,299	11,692,977	△312,678
雑収益	228,456	2,319	226,137
受取利息	4,684	2,319	2,365
雑収益	223,772		223,772
經常収益計	49,825,900	49,098,849	727,051
經常費用			
事業費	35,378,865	33,767,603	1,611,262
給与手当	7,838,400	7,949,500	△111,100
退職給付費用		60,220	△60,220
福利厚生費	1,255,282	1,534,129	△278,847
会議費	183,072	85,915	97,157
旅費	1,488,670	960,953	527,717
通信費	2,797,079	2,411,729	385,350
減価償却費		23,687	△23,687
消耗品費	6,920,125	7,028,518	△108,393
印刷費	1,438,128	305,010	1,133,118
光熱費	131,393	131,393	
賃借料	10,615,196	10,782,531	△167,335
保険料	39,040	25,370	13,670
諸謝金	712,425	493,197	219,228
施設費	1,403,945	1,125,969	277,976
交際費	6,960	9,349	△2,389
雑費	549,150	840,133	△290,983
管理費	7,776,142	7,917,015	△140,873
給与手当	2,737,600	3,424,250	△686,650
退職給付費用		90,330	△90,330
福利厚生費	139,475	170,459	△30,984
会議費	184,262	188,516	△4,254
旅費	837,470	913,540	△76,070
通信費	987,732	905,632	82,100
減価償却費		12,202	△12,202
消耗品費	357,819	634,257	△276,438
印刷費	198,399	151,718	46,681
光熱費	67,687	67,687	
賃借料	611,996	611,996	
保険料	6,631	6,631	
諸謝金	25,750	25,750	
施設費	71,200	72,100	△900
交際費	1,314,706	440,460	874,246
雑費	235,415	201,487	33,928
經常費用計	43,155,007	41,684,618	1,470,389
經常増減額	6,670,893	7,414,231	△743,338
評価損益等調整前当期經常増減額			
評価損益等調整	0	0	0

正味財産増減計算書

平成25年 4月 1日から平成26年 3月31日（決算）まで

法人名：一般社団法人出版文化国際交流会

事業名：事業全体

（単位： 円）

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
当期経常増減額	6,670,893	7,414,231	△743,338
経常外増減の部			
経常外収益			
その他経常外収益	0	4,712	△4,712
特定事業のための取崩収入		4,712	△4,712
経常外収益計	0	4,712	△4,712
経常外費用			
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	4,712	△4,712
当期一般正味財産増減額	6,670,893	7,418,943	△748,050
一般正味財産期首残高	23,704,769	16,285,826	7,418,943
一般正味財産期末残高	30,375,662	23,704,769	6,670,893
Ⅱ 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	0
指定正味財産期末残高	0	0	0
Ⅲ 正味財産期末残高	30,375,662	23,704,769	6,670,893

財務諸表に対する注記

法人名：一般社団法人出版文化国際交流会
事業名：事業全体

1. 重要な会計方針

- (1) 有価証券の評価基準及び評価方法
有価証券の評価基準及び評価方法について
該当なし
- (2) 固定資産の減価償却の方法
什器備品
定率法、直接法による減価償却を実施している。
- (3) 消費税等の会計処理
消費税等の会計処理は、税込方式によっている。

2. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産	0	0	0	0
小 計	0	0	0	0
特定資産	0	0	0	0
合 計	0	0	0	0

3. 担保に供している資産

該当なし

4. 保証債務等の偶発債務

該当なし